

これ、力なき因果なり」という言葉がございませう。これは、能を大成された世阿弥が遺された言葉で、『風姿花伝』という書物に収められております。わかり易く要約しますと、「良い時もあれば悪い時もある」ということですが、そこまで軽い一般論ではないようです。

これは、能役者が、誠の花を咲かせる為の口伝でもあり、我々が人生を歩んでいく上でも、非常に大切な教訓になる言葉であると存じます。

どなたもが、一生の間、最高の幸運だけに恵まれるなんて思われていないかと思ひます。やはり、人生は山あり谷あり、努力は報われたいと考へますが、逆境に立てば、心痛める時もあります。しかし、どんなに手立てを尽くしても、どれ程努力しても、どこまで準備しても、時には上手くいかないこともあるのが、人生ではないでしょうか。

信仰生活心得の十九番目に、「何事も、神意の示現と心得て、思い過ごし、心配、悲観をせぬようにいたします。」とあります。思うように事が進まない時も、悲観ばかりされるの

ではなく、時には淡々と日々を過ごす。又冷静に、現状に上手く順応する。こういつた心持ちを育ん

祭典・総会は厳粛に、直会は、楽しく賑やかに 令和になって初めての 愛教婦人会総会

三月七日(土)愛教婦人会をさせて頂く事をお話しされた。総会を、素晴らしい天候の元、開催する事が出来た。

教会長様の祭主により祭典が始まり、その後、岸田啓子、柴垣吉恵両副会長の司会進行で、総会が始まり、山本多恵子会長の挨拶で、幼い頃お母様に連れられ参加した思い出、お母様と亡き祖母への感謝と、これからの婦人会を、皆様と一緒に盛り上げていきたいと思います。

集合写真の撮影が終わり、場所を修行殿に移動し、教父様の乾杯のご発声の後、直会が開催されました。お弁当、手作り味噌汁、



ご本殿で総会後の記念写真



婦人会会長の代表玉串に合わせ、一同列拝の参加会員の皆さん。



全員参加の新ゲーム、皆さん真剣に「あっ」そして笑!



様のご協力が無事終了することが出来ました。有難う御座いました。

民謡クラブの方々が艶やかに、興を盛り上げ。フルーツ(苺は柳田雅子様から)を頂きながら、民謡クラブ(田尻清子、内池珠美、白井京子、岸田梯子さん)による「千本桜」と言うリズムの速い踊りも見事に踊られ、拍手喝采でした。その後、手作りの輪投げ大会、大皿転がし、ジェス

チャーゲームと、どれも全員の方の参加で楽しく過ごすことが出来ました。最後は、恒例の抽選会で素敵な賞品を手に入れ、喜んで頂けたようです。若奥様の万歳三唱で、皆

来年もまた、皆様に元氣にお会い出来る事を楽しみにしております。大勢のご参加お待ちしております。愛教婦人会 書記 伊丹直子

教会行事

四月 一日(水)	月並祭	午後七時
五日(日)	御本宮春之大祭	午前十一時半
八日(水)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(木)	修行日	午前十一時、午後七時
十一日(土)	教祖祭	午後七時
十二日(日)	大祭準備	午前九時
十五日(水)	春之例大祭	午前十時
十八日(土)	(神輿巡行は中止となりました。)	午後七時
二十五日(土)	月並祭	午後七時
二六日(日)	米子地区敬和会	午後七時
二九日(祝)	修行日	午前十一時、午後七時
二九日(祝)	養老教会春之大祭	午前十時半
五月 一日(金)	西播教会春之大祭	午前十時半
三日(祝)	月並祭	午後七時
三日(祝)	御本宮月並祭	午前十一時半
八日(金)	御本宮遙拝式	午前九時
九日(土)	修行日	午前十一時、午後七時
九日(土)	教祖祭	午後七時

祝祭日には必ず国旗を掲揚しましょう

寶生教 国旗掲揚運動



発行所 寶生教大阪本部
大阪府西區北堀江3丁目10番
電話 06(6531)6722
FAX 06(6531)6152
© (非売品)

4月号

自家成立の
根源は和にあり
秩序の根源は
神祖崇敬より

新型コロナウイルス対策の中「春之祖先霊大祭」ご教話「信仰生活の実践が大切」(3月20日)



祖先霊大祭、ご教話なさる本部長様

今日は、春之祖先霊大祭、ようこそご参拝下さいました。昔は新型コロナウイルスで大騒ぎであります。その様なお出ましに、心を、熱心にご参拝頂きまして、誠に御座います。

来ますのも、大神様の御神威、各家ご祖先のご守護、そして教信徒皆様の信仰の賜物であると存じます。祖先祀りの大切さは、充分ご理解頂いているから、今日ここに参集頂いている訳であります。

この様に、ご祖先の御霊と同じ時間、同じ空間を過ごす。まさに、そこに更なるご祖先のご守護が頂けるも

の御座居ます。扱、二月三月は暖かくなったり又冷え込んだり、中々気候が不順でありました。その様な影響もあつてか、教えの友垣の訃報にも接し、寂しい思いも致しました。

実は昨日、町の会合に出席致しました。やはり町会でもご多分に漏れず、割と元気だった方が急に亡くなられました。その会合の冒頭には、全員で黙祷を捧げました。

人の死を悼む、ということとは非常に大切な行為である、昨日改めて確認致した次第です。皆様も「黙祷」の経験、又耳にされたことがおありかと存じます。その本意はご存知でしょうか。黙祷とは、例えば大勢の



祖霊殿に心尽しの献饌がなされ、ご招霊なさる祭主様

お知らせ 春之大祭時の「神輿巡行」ご神示により「中止」といたします。

な事なのか。そして以前も申し上げた様に、ご祖先とこの世に残る我々の両方が存在してこそ、祖先祀りが出来る訳であります。これは非常に有り難い事なのです。ご祖先の大切さ、祖先祀りの大切さは、ともすれば現代を生きる若い方々にはピンと来ないこともあるかも知れません。しかし、世の中は、目に見えないものにこそ、大きな価値がある様です。祖先を敬うという事は、この世に命が誕生して以来、延々と続く、命の連続の表現です。そのことをしっかりと認識すればこそ、大きなご守護が生まれるということに御座います。

話は変わりますが、松尾芭蕉という俳諧師をご存知かと思ひます。芭蕉の遺した『三冊子』という俳句の指南書とも云える書物の中に、次の言葉が御座います。「俳諧は教えてならざる処有。能通るに有。」俳句というのは、口で教えても中々上手にならな

い。本人がとにかく経験を積んで、たくさん詠むべきだ、という意味の言葉です。信仰にも当てはまるかも知れません。親から子へ、子から孫へと伝えるのも、話を聞かせて伝える事も大切ですが、やはり本人にも信仰生活を実践させる。そうして初めて気付くこともあるのかも知れません。その様に考えますと、教えて簡単に身に付くものではないのが信仰なのかも知れませんが、そのことに、一日でも、一秒でも早く気付かせて頂く。そうしますと、更なる大きな徳が積まれ、心豊かな生活が送れるもので御座居ます。

教信徒皆様がよくご祖先にお仕えになり、大きなご守護を賜られ、益々、自家成立されますことを心より祈念致して居ります。又、本日の祖先大祭斎行にあたり、総代様始め各役員の皆様、わけて婦人会の皆様には数日のお餅つきのご奉仕、又宝寿会、有志の皆様には玉串謹製のご奉仕、誠に有難う御座います。

「定例信徒総会開催」―新役員発表 勇退者へ感謝状、称号の授与

三月二十日、春之祖先霊大祭、祭典に引き続き定例の信徒総会が開催されました。岸田総代の議長のもと、令和元年度の教務報告、並びに教会会計報告がなされ、一同の拍手により承認されました。また、本年は役員改選期に当たり、ご勇退の方々へ感謝状・記念品、また名誉役員等の称号の贈呈が行われ、次いで新役員の方々のお名前が発表され、辞令が交付されました。感謝状を受けられる方、並びに新役員の方々は、次の通りです。(敬称略)

御奉仕者等の顕彰

信徒総会議事に続き、恒例の日々の教会清掃、各祭典玉串の調整、並びに篤信的な日参等の顕彰が行われました。次の方々です。(敬称略)

御本宮 月並祭

毎月第一日曜日 午前十一時半より

話 若者の投書欄 産経新聞「ひこばえクラブ」より

祭 祖 祭 (3月9日)

皆様こんにちは。巷では相変わらず新型コロナウイルスの話題で持ち切りですが、よろこび参拝下さいました。今日の産経新聞の「ひこばえクラブ」という、割と若い方の投書を掲載している欄に、面白い記事がありましたので、ご紹介してお

話に変えさせて頂きます。最初は十三歳の男子中学生の投書で、タイトルは、「バズるためにタビるかも」というものです。「さて、タピオカを入れたミルクティーなどを飲むことを指す『タビる』。小惑星リュウグウにつく

られた人工クレーターの愛称「おむすびころりんクレーター」。

テレビや新聞からは、新しい言葉が次々飛び出してくる。

しかし、流行に鈍感な私は意味が分からず、日常生活で困ってしまうことがよ

くある。小学六年生のある日、授業を受けていると生徒と教師の間を、ある言葉が飛び交った。「バズる」という言葉だ。ネット上で、口コミなどを通して話題になる、という意味。授業中で友人に聞けず、検索も出来なかったから、会話が理解できなくて混乱した。その頃から、流行が私の悩みの種になった。しかし、時代の流れには逆らえない。いつか私にも、『バズる』ために『タビる』ことがあるのかもしれない。」という文章です。もう一つも十五歳の方。タイトルは「国民守るのが代表者の責務」。

も出来てしまう。そうすると、新型コロナウイルスに感染してしまう危険性は、高まるのではないかと。働く為に外出している大人と子供が接触する場合もあるだろう。そして何より、休校を「要請」という曖昧な判断には首をかしげる。何故誰も責任を取ってくれないのか。国の代表者はしっかりとした判断をし、指示を出して、国民を守ってほしいと思う。これ以上、悪い方向に進んでいかないと願っています。

いる。」更に、「健康第一、食品成分表に夢中」という。十三歳の中学生の投書。「家庭科の授業で、食品成分表について習いました。様々な食品の、栄養素の量などの情報が記載されているものです。家に帰って改めてそれを読み、色々調べると、恐ろしいことが解ったのです。自分が間食としてよく食べていたもののエネルギーを合計すると、先生が仰っていた間食の目安、二〇〇キロカロリー以内を、大きく上回っていたのです。

このままではいけないと危惧し、それ以来、間食は栄養素が豊富で、エネルギーが控えめなものを出来るだけ選ぶようにしています。この他にも、身近な食品や野菜などの情報も載っており、家だけでなく学校にも持参するほど夢中になりました。今まではあまり見なかった食品の包装紙に記載されている原材料名も確認するようになりました。私の食生活は食品成分表により大きく変化しました。皆さんもご覧になってみてはいかがでしょうか。」

正月、春秋のお彼岸、お盆の年に四回、ご祖先がそれぞれのお家に帰ってこられます。その様な日にあたるのかもしれない。この物語では、その『死者の日』にマリーゴールドの花びらで、あの世とこの世を繋ぐ橋が出来ます。その橋を渡って亡くなった御霊は、それぞれ祀られている祭壇やお墓に帰ってきて、子孫と共に同じ時間を空間を過ごし、お供え物をあの世に持って帰る、という表現がなされています。但し、亡くなった御霊がこの世へ帰ってこられるのには、条件があります。それは、この世で祭壇に写真を飾ってもらっているということ。祭壇に写真が飾られていない人は死者の国から出られないというお話なのです。

尚且つ、その人たちは、死者の国で再び死を迎えます。つまり、この世の人たちから完全に忘れ去られてしまった御霊は消滅してしまふ、という表現がされているのです。神道では、この世の人に忘れられてしまった御霊は禍津神となつて、様々な禍事、災いをもたらします。そして主人公の少年は、亡くなったひいおじいちゃん

話 慰霊の大切さは世界共通

祭 並 月 (3月1日)

皆様、おはようございます。巷では新型コロナウイルスの影響で学校や様々な行事が自粛モードであります。その様な中を、早朝よりよろこび参拝下さいました。先日、養老教会の皆様とお話しする機会がありました。養老などの田舎の方では、地域の繋がりが、近所付き合いもしっかりしているというイメージをお持ちかと思えます。しかし、最近殆どの方が家族葬をされるので、ご

近所だけでなく、親戚同士ですら、葬儀が済んでから実は亡くなったと聞くこともあり、大変さみしい思いをすることもあるというのが現状なのだそうです。こういった問題は、今、世間を騒がせている新型コロナウイルスより、余程、末恐ろしい問題ではないかと感じております。

この作品はディズニータンキのアニメ映画で、「祖先と家族の愛の物語」をテーマに描かれています。舞台はメキシコ。おそろく、キリスト教社会の死生観を表現しているものだと思われます。亡くなった人々は、死者の国へ旅立たれます。そして年に一度、祖先が家族に会いにやってくるという『死者の日』という日があります。ご存知の様に、日本では、

「いかにすれども、能にも良き時あれば、必ず、悪きこと、またあるべし。」

「いかにすれども、能にも良き時あれば、必ず、悪きこと、またあるべし。」

「いかにすれども、能にも良き時あれば、必ず、悪きこと、またあるべし。」